



2021年10月29日

各 位

会 社 名 兼松エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 渡辺 亮
(コード番号：8096 東証第1部)
問合せ先 執行役員経営企画室長 岡崎恭弘
(TEL：03 - 5250 - 6821)

連結業績予想の修正および剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

2021年4月28日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社は、2021年10月29日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2022年3月期通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	67,000	11,450	11,500	7,700	269.20
今回発表予想(B)	69,000	12,250	12,300	8,300	290.12
増 減 額(B - A)	2,000	800	800	600	
増 減 率(%)	3.0	7.0	7.0	7.8	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期通期)	65,542	10,870	11,041	7,382	258.11

(2) 公表の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症（以下、同感染症）の拡大等による業績への影響を懸念していたものの、同感染症の段階的な収束に伴う経済環境の回復により企業業績は緩やかながらも回復の動きが見られ、抑制傾向にあったIT投資は堅調に推移しました。また、ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、期初予想を大幅に上回り、中間期における過去最高業績を更新しました。

当連結会計年度における通期連結業績予想につきましては、同感染症が再拡大する懸念はあるものの、当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、期初予想を上回る見通しとなりましたので、上記の通り修正することといたしました。

なお、上記予想は、現時点で入手可能な情報および一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の動向等、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 剰余金の配当（中間配当）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年4月28日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	75円	70円	65円
配当金の総額	2,145百万円		1,859百万円
効力発生日	2021年12月1日		2020年12月1日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 理由

株主の皆様への利益還元につきましては、中長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針とし、現行中期経営計画の数値目標の一つとしても「配当性向50%以上」を掲げております。

中間配当金につきましては、上記方針および当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、1株当たり75円とすることといたしました。

期末配当金については2021年4月28日公表の予想値（70円）について変更ありません。

3. ご参考（2022年3月期年間配当の内訳）

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2021年4月28日公表)	70	70	140
配当予想		70	145
当期実績(2022年3月期)	75		
前期実績(2021年3月期)	65	70	135

以上